

バンドン工科大学

アジア共同体形成への、アートとデザインの貢献

実施期間：2012年8月~2013年1月

- 第1回 「アジア共同体の輪郭内の創造性」
Roro Sri Wachyuni (バンドン工科大学 講師)
- 第2回 「カートゥーンとコミックによる外国語教育とそのことを通じてのアジア
共同体展開への貢献」
Dianni Risda (インドネシア教育大学 准教授)
- 第3回 「言語の観点からするアジア諸国間の関係」
Asep Wawan Jatnika (バンドン工科大学 准教授)
- 第4回 「個性を打ち出すアジアのデザインと建築」
Tendy Y.Ramadin (バンドン工科大学 准教授)
- 第5回 「大アジアの歴史からアジア共同体構想に至るまでの展開に学ぶこと」
Nana Supriatna (インドネシア教育大学 准教授)
- 第6回 「アジア共同体の発展の中で、独立性と関係性をいじするための、アートデ
ザインによる創造性と起業精神」
Soebroto Hadisoegondo (ボゴール農科大学大学院 客員教授)
- 第7回 「美術とアジア共同体形成への貢献」
Setiawan Sabana (バンドン工科大学 教授)
- 第8回 「アジアのアートとデザインの文化間コミュニケーション」
Deddy Mulyana (パジャジャラン大学 教授)
- 第9回 「科学技術を通じてのワンアジア共同体の創設」
Josaphat Tetuko Sri Sumantyo (千葉大学 准教授)
- 第10回 「アジアの統一をもたらす視覚言語」
小野耕世 (国士舘大学 准教授)
- 第11回 「カートゥーン言語を通じての社会批判とアジア共同体形成への貢献」
Mulyadi Mahamood (マレーシア工科大学 教授)
- 第12回 「権力、アイデンティティと技術科学：アジアの民族国家の探求」
Sulfikar Amir (シンガポール南洋理工大学 教授)
- 第13回 「日本とアジア共同体内関係への貢献」
鹿取克章 (駐インドネシア大使)
- 第14回 「ワンアジア財団理事長による一般講義」
佐藤洋治 (ワンアジア財団 理事長)